### 沿線地域における公共交通ネットワークの将来像

#### 【交通拠点の位置付け】

#### 【公共交通の機能分類】

	【父通拠点の位直付け】			【公共父趙の機能を	<b>「類」</b>
分 類	位置付け	交通拠点	分類	機能・役割	公共交通
中核拠	<ul><li>・商業、医療、教育等の都</li></ul>	・福島駅	地域の	<ul><li>・交通結節点及び地域拠点から中枢</li></ul>	・阿武隈急行線
点	市機能が集積した沿線		基幹交	拠点や主要交通拠点の間、交通線	
7111	地域の中核となる拠点。		通	節点の相互間における移動を担	
	・鉄道相互(JR 在来線・新		,UI	う。	交通)
	幹線・福島交通飯坂線)			・基本的には、福島側地域から中核	
	の乗り継ぎ拠点。			拠点への移動、宮城側地域から主	
主要交	・鉄道相互(JR 在来線の仙	・槻木駅		要交通結節点への移動を担う。	
通結節	台方面)の乗り継ぎ拠		都市間	・沿線地域外への移動を担う。	・JR 東北新幹線
点	点。		広域交	<ul><li>・中核拠点及び主要交通結節点にお</li></ul>	・JR 山形新幹線
交通結	<ul><li>・路線バス、コミュニティ</li></ul>	・保原駅	通	いて阿武隈急行線と結節する。	・JR 東北本線
節点	バス、タクシー等の地域	・梁川駅	<u> </u>	CFIENTAL THAT 7 00	<ul><li>JR 奥羽本線</li></ul>
W.13	内交通(居住地と駅、駅	・丸森駅			<ul><li>・高速バス</li></ul>
			나 44 시니	日という方法が禁止の眼の放動さ	
	と目的施設などをつな	・角田駅	地域内	・居住地と交通結節点の間の移動を	
	ぐ移動手段)と結節する		交通	担う。	・路線バス(福島交通)
	乗り継ぎ拠点。			<ul><li>・交通結節点と目的施設の間の移動</li></ul>	・コミュニティバス
	・福島駅〜保原駅〜梁川駅			を担う。	・デマンド交通
	間を並行して運行する				・タクシー
	路線バスとの接続拠点		観光交	・沿線地域における観光等の周遊移	
	(保原駅、梁川駅)。				
n11 4-1 411		[ <del>==</del> 1\1	流軸	動を担う。	通飯坂線、JR東北本線、
地域拠	・駐車場や駐輪場の設置等	・上記以			路線バス、コミュニテ
点	による自家用車等でア	外の駅			ィバス、デマンド交通、
	クセスしやすい拠点。	(無人			タクシー
	・駅周辺における生活利便	駅)			
	機能等が充実した、地域			仙台方面	仙台方面
	の住民が集まる拠点。				1/1
	・駅施設を利活用した交流				
	拠点。				
	J =111.0				•
東北新幹線 現本 デマンド交通、タクシー リエス 関急行線 カクシー ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス					
	福島交通 飯坂線 山形新幹線 奥羽本線 路線バス 郡山・東京方面	保原路組	デマンド交タクシー		

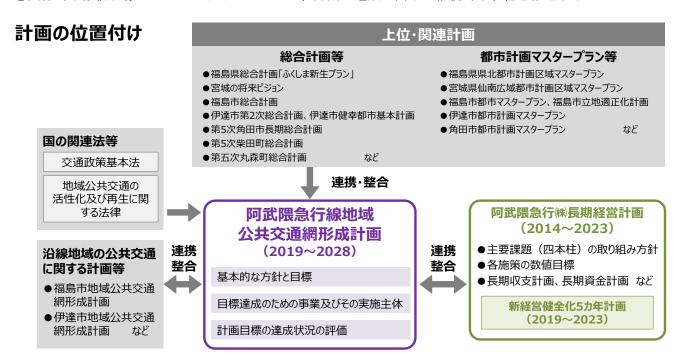
# 阿武隈急行線地域公共交通網形成計画【概要】

### 計画の目的

本計画は、阿武隈急行線の具体的な運行実績や利用実態を把握するとともに、利用者ニーズ及び阿武隈急行を取り巻く課題を明らかにし、阿武隈急行線の運行継続の実現のための施策や利活用策を検討するとともに、2014 年 11 月改正の「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の趣旨に鑑み、まちづくりや観光振興等の地域戦略との一体性を確保し、阿武隈急行線沿線全体の、地域にとって望ましい持続可能な公共交通網の形成を目指して、地域、交通事業者及び行政等が果たす役割を定めるものとする。

### 計画の役割

- ①阿武隈急行線沿線地域の"広域的"な地域公共交通のマスタープランとして、地域にとって望ましい公共 交通ネットワークの姿を明らかにする(ビジョン及び施策体系)
- ②阿武隈急行の持続可能な経営に資する
- ③阿武隈急行線沿線地域のまちづくり(都市計画、商業、観光振興など)の取り組みとの一体性を確保する
- ④地域特性に応じた多様な交通サービスによるネットワーク構築を目指す
- ⑤地域・企業など多様な関係者との連携を促進する
- ⑥具体的な数値目標とPDCAサイクルにより、計画の達成に向けた継続的な改善を推進する



計画の区域:福島市・伊達市・角田市・柴田町・丸森町の阿武隈急行線沿線地域

計画の期間: 2019 年度から 2028 年度までの 10 年間



1

# 阿武隈急行線地域 公共交通の課題

# 課題への 対応の方向性

# 目標達成のための事業及びその実施主体、スケジュール

生活と交流に欠かせない基幹インフラとして、「地域と共にあり」 「地域をつなぐ」公共交通ネットワークの構築を目指す

基本的な方針と目標

# 沿線地域の現状にみる課題

沿線地域における公共交通利用 者の確保

交通弱者の移動手段の確保・利 用環境整備

市町間の広域的移動を支える公共交通ネットワークの確保

駅から沿線の生活利便施設への 交通手段の確保

観光需要の掘り起こし、観光施設への移動手段の確保

沿線のまちづくりとの連携、駅を中 心とした拠点機能の向上

#### 沿線地域の公共交通の現状に みる課題

交通結節点としての拠点駅の機 能強化

駅に接続する公共交通手段の確保

阿武隈急行線と路線バスの一部 運行区間の重複

公共交通を取り巻く事業環境の 維持・確保

### 阿武隈急行線の現状・ニーズに みる課題

阿武隈急行線の年間輸送人員の維持

日中利用・観光利用の拡大

利用者ニーズに合わせたサービスの提供

阿武隈急行㈱の運行維持

# 方向性① 沿線地域の生活を支える地域公共交 通の構築

- ・通勤・通学の手段として地域公共交通の維持
- ・交通弱者の生活の足としての地域公共交通の維持

## 方向性② 沿線地域全体の移動を支えるための 一体的ネットワークの構築

- ・他の鉄道と連携した交通サービスの提供
- ・駅に接続する公共交通と連携した交通サービスの 提供
- ・並行して運行する公共交通の整理による持続可能 な公共交通網の構築
- ・拠点駅の機能強化による利便性の向上

#### 方向性③ 沿線地域のまちづくりとの連携

- ・ 沿線の居住・都市機能誘導や観光振興等、沿線地域のまちづくりとの連携
- ・まちづくりとの連携によるコミュニティ拠点としての駅の利活用

#### 方向性④ 公共交通利用者の維持・拡大

- ・利用者のニーズに応じたサービスの見直し
- ・通勤・通学利用者以外の利用者の拡大
- ・観光需要の掘り起こしや二次交通の整備による観 光利用者の拡大

#### 方向性⑤ 行政・交通事業者・地域住民等の連携

・行政・交通事業者・地域(住民・企業・施設等) との連携による公共交通の維持・利用促進

#### 方向性⑥ 安全・快適な公共交通

- ・鉄道施設の老朽化設備の計画的な整備・更新の実施
- ・車内・待合場所等の快適な環境づくり

# 方向性⑦ 阿武隈急行線の持続的な運営・運行 体制の構築

- ・ 持続的経営体制構築のための経営改善
- ・新たな収入確保や沿線自治体による持続可能な支援スキームの構築

## 基本方針1

鉄道を軸とした沿線地域の一体的な交通ネットワークの形成

目標1:阿武隈急行線とバス交通等の一体的なネットワ

ーク構築とサービス提供

### 基本方針2

鉄道沿線の交通まちづくりの推進

目標2:駅を中心としたまちづくりの推進

目標3:生活やコミュニティ拠点としての場の提供

### 基本方針3

多様な関係者との連携による公共交通の利用促進

目標4:利用ニーズに対応したサービスの提供

目標5:沿線企業・施設等との連携による公共交通の

利用拡大

目標6:交流人口拡大のための沿線地域の魅力創出

#### 基本方針4

安全・安心で持続可能な地域公共交通の構築

目標フ:阿武隈急行線の安全な運行の確保

目標8:阿武隈急行㈱の経営改善

# 重点施策

阿武隈急行線の持続的な運行・運営のために、 特に優先的かつパッケージで取り組むべき事業

## 重点施策①

阿武隈急行線の利用人員 及び収入の維持·拡大

指標①:阿武隈急行線 の利用者数

## 重点施策②

持続可能な鉄道事業基盤 の確保

指標②:阿武隈急行線の「運送費」に対する「鉄 道事業営業収益」の割合

実施時期 バ タ 県 地 ス ク ・ 域 事 シ 市 団 前期 後期 目 事 
業
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0</ 事 業 急道業事町 標 沿線地域公共交 • 通の路線再編 駅の案内表示・ 広報方法の改善 標 阿武隈急行線を 基軸とした一体的 交通サービスの提 . 供(地域 MaaS の展開) 駅周辺におけるイ ベント・行催事等 との連携 駅周辺における居 標 住·都市環境整 備の推進 駅周辺における企 業·工業団地等 の開発促進 駅における生活拠 Ħ . . . 点づくり 地域と連携した駅 等の美化活動 利用ニーズに応じ たダイヤの見直し 乗り継ぎ方法の案 Ħ 内強化·改善 JR 等との連携 . 駅の駐車場の運 用改善·整備 沿線企業や大学 等と連携したモビリ . . . ティマネジメント 5 高齢者等の利用 . . . 促進 鉄道自体の魅力 . 向上 目 情報発信の強化 6 沿線観光資源を 活用した需要開 老朽施設(車両 B 等) の更新 駅・待合施設の 環境改善 旅客運賃以外の B 収入確保 鉄道事業基盤の 8 強化

2